

元気と笑顔がいっぱい 9/17~18 幼稚園の運動会



▲障害物競走「げんきっこ探検隊」(飯幼)

幼稚園の運動会は、草野幼稚園が17日、飯桶幼稚園が18日に、それぞれ園庭で行なわれました。当日はさわやかな秋晴れとなり、園児たちはダンスやかけっこ、親子競技などの種目に元気に参加しました。会場には、家族や地域の方たちがたくさん詰めかけ、わが子をカメラに収めたり、声援を送ったりと楽しいひと時を過ごしていました。



口ポットに変身(草幼)

親子でデカバン競走(草幼)



▲うまく渡れるかな(飯幼)



▲上手にボールをころがして(飯幼)



▲3歳児のダンス「ぜったいに元気！」(草幼)

近づく秋を感じながら



▲山頂での記念写真

9/11 **日山登山**
 いたていきいきクラブ主催の「日山登山」が行われ、会員や村民など約30人が参加し、登山を楽しみました。今回の登山は、安達郡岩代町の日山(標高1057メートル)。参加者らは、途中湧き水を飲んだり、写真を撮りながら山頂を目指しました。この日は霧のため、山頂からの景色は見れませんでした。参加者らは登山を楽しみながら心地良い汗を流していました。なお、2回目の登山が11月3日に予定されています。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

大会主題は 子と親とが共に育つPTA活動

9/3 第50回相馬地方PTA研究大会 飯館大会



▲大会のようす

「第50回相馬地方PTA研究大会」が飯館中学校体育館にて行われ、相馬地方のPTA会員ら約400人が参加しました。大会の開会式では、川村勝彦相馬郡PTA連絡協議会長のあいさつに続き、高木正勝飯館大会実行委員長から歓迎のあいさつが述べられました。また、PTA活動に功績があった個人や団体に對して、川村会長から感謝状と表彰状が贈られました。

開会式後の基調講演では、渡辺経営コンサルタント事務所(富岡町)の渡辺雅文代表が「教育と生きる喜びを育むこと」と題して講演を行いました。参加者らは、基調講演や研究協議などを通して、今後のPTA活動のあり方や進むべき方向性などを考えました。

美しいハーモニを披露

9/4

第8回そつま地方合唱を楽しむ会 合同発表会

「第8回そつま地方合唱を楽しむ会」が村公民館で開かれ、参加9団体が日頃の練習成果を披露しました。この発表会は、そつま地方合唱を楽しむ会(荒武敬会長・鹿島町)が、毎年会場を持ち回りで開催しているものです。

は、相馬地方5市町村から、新規加入の「小高フレッシユコーラス」(小高町)を含む9団体が参加し、それぞれ2曲から4曲を披露。会場に訪れた人たちは、次々に披露される美しいコーラスに聞き入っていました。



▲3曲披露した「飯館お母さんコーラス」

突然の激震 相馬地方大揺れ

震災対策は万全ですか？

8月16日の午前11時46分頃、宮城県沖を震源とする大きな地震が起き、飯館村では震度5弱を観測しました。この地震で、相馬地方を中心にけが人や建物の一部崩壊などが発生。なかでも建物被害は相馬地方が県内全体の72%を占めました。

政府の地震調査委員会は「想定していた宮城県沖地震ではない」との見解で、「今後30年以内にマグニチュード7・5前後の大地震が起る確率99%に変更なし」と発表しました。

いざという時のために、今できることから始め、被害の軽減を図りましょう。



▲地震で起きた地割れ（二枚橋）

飯館村の被害状況

けが人…なし
 建物の一部損壊…33棟
 地割れ、落石など…15件

今できる地震対策

- 家具類の転倒落下防止
留め金での家具類の固定、ガラス飛散防止フィルム貼付け。
 - 非常持ち出し品の準備
2〜3日間の生活に必要なものを準備しておきましょう。応急手当用品の準備も忘れずに。
 - 消火器や消火用水の用意
消火器や水バケツ、お風呂には常に水のくみ置きを。
 - 家族で防災の話し合い
お互いの連絡方法、避難場所や経路を家族で確認しましょう。
 - 防災訓練への参加
防災訓練へ積極的に参加し、防災知識を身に付けましょう。
 - 隣近所の助け合い
近隣で声を掛け合い、お互いに助け合います。
 - 相馬地方震災対策スローガン
「死者ゼロ、炎上火災ゼロ」を目指して
- 震災対策に関するご相談は
 消防飯館分署 0119へ

総合優勝は2年1組

9/14

第1回走れ飯館スポーツ大会



▲白熱したドッチボール

総合優勝	2年1組
第2位	3年1組
第3位	2年3組
応援	2年1組

大会結果

飯館中学校（鳥義一校長）で「走れ飯館スポーツ大会」が行われ、クラス対抗で点数を競いました。

これは、昨年まで実施していた球技大会に駅伝の種目を追加し、新たにスポーツ大会として実施されたものです。

競技は、サッカー、バスケットボール、ドッチボール、駅伝の4種目が行われ、全校生徒が参加。

また、今回は新たにベストサポート（応援）賞も設けら



▲先生も参加した駅伝

れました。選手たちは、クラスメイトや先生の声援を受けながら、熱戦を繰り広げていました。



日本の中の飯館村

現在、日本の国の借金は約800兆円、県と市町村の借金が約200兆円、合わせて1000兆円だそうです。天文学的な数字で私たちにとても実感出来ませんね。

そこで分かりやすくしてみると、一人当たりの借金額は約800万円となり、5人家族ですと、4000万円の借金、ということになります。

また、この借金の利子は1時間で10億、1日240億円になるそうです。村の年間予算が35億円くらいですから、ため息が出ますね。日本は世界一の経済大国から世界一の借金大国になってしまったようです。

子や孫には、この借金を少しでも減らしてバトンタッチをしていくのが、今の私たちに課せられた務めではないでしょうか。

したがって飯館村では、他の市町村に先がけ「まていライプラン」を今年からスタートさせ、「小さな役場づくり」の自立プランをつくり、さらに議員数を18から14人に減らし、議員・三役・管理職、職員などそれぞれの立場で手当カットなどをして、村民の生活確保のため努力をしているところなのです。

これらの努力は、合併する・しないにからわらず、中央・地方問わずのはずであり、小回りのきく自治体や自立の市町村などはどんどん改革を進めているのですが、図体の大きな国や市はなかなか進まないようで残念でなりません。

郵政民営化も大切ですが、衆・参議員合わせて722名の国会議員なども、私たち地方議員のように減らしてもらいたいものと思うのは、私ばかりではないはずです。

日本再生のカギは地方にあると私は思っていますので、地方軽視の政治には断固声を大きくしていかねばと考えているところです。

平成17年9月26日
 飯館村長 菅野 典雄

形に残る総合学習を

8/31

中学生が陶芸を体験

飯館中学校の2年生77人が、総合的学習として陶芸を体験しました。

これは、郷土の歴史を学び、形に残る総合学習を行なおうと初めて行われたもので、原町市から陶芸の先生2人を講師に迎えて行われました。

生徒たちは、講師の指導を受けながら土を練り、茶碗や皿など、思い思いの作品を作り上げました。

この日作られた作品は、今後窯で焼かれ、10月の文化祭で展示される予定です。



▲土を練り作品を作る生徒たち

高田涼君が県大会で4位

9/17

東北大会へ



▲東北大会へ出場する高田君

いわき市内で行なわれた「第45回福島県高校新人体育大会陸上競技大会」で、相農飯館分校2年生の高田涼君（草野）が、三千メートルで第4位に入り、東北大

会出場を決めました。

高田君は鹿島町出身で、本格的に陸上を始めたのは高校に入ってから。昨年の「ふくしま駅伝」には、飯館村チームの一員として出場しました。

東北大会に向けて高田君は、「悔いの残らない走りをして、上位入賞を果たしたい」と力強く目標を話していました。

東北大会は、10月6日から盛岡市で開かれます。